

総合討論 発言 1 糖尿病外来診療における動脈硬化検査の必要性

武田クリニック

武田 浩

【はじめに】糖尿病治療のターゲットはマイクロからマクロアングイオパチーへとなってきた。定期的に測定結果を患者に説明し、患者診療意欲を高めることによってドロップアウトを防ぐ必要がある。

【目的】baPWV の改善例において他のパラメータをレトロスペクティブに検討し、糖尿病外来診療における動脈硬化検査の必要性を確認する。

【対象と方法】当院通院糖尿病患者のうち 2002 年 4 月より、2003 年 7 月の間に 723 名の baPWV および、収縮期血圧、拡張期血圧、体重、BMI、食後血糖、HbA1c、TC、TG、HDL-C、尿中マイクロアルブミンを測定した。さらにこの患者群のうちほぼ 1 年間経過観察しえた 221 名中、血圧が悪化し、baPWV が改善しえた患者で来院時間がほぼ一致している(1 時間以内) 群 40 名において、他のパラメーターの変化を検討した。この間のパラメーターは 2002 年 4 月から 7 月、2003 年 4 月から 7 月の平均値を用いた。統計学的検討で相関に関し Spearman 比較は Wilcoxon t-test を利用した。

【結果】収縮期血圧と baPWV には正の相関があるが、収縮期血圧の上昇を伴いながら baPWV の改善をみた糖尿病患者においては、食後血糖の改善が見られている。

【検討】血圧依存のない CAVI をパラメーターに加えることで、baPWV が改善しえなかった例を含めての解析を今後の検討課題としたい。

参考資料

糖尿病データマネジメント研究会 (JDDM) は CoDiC によるデータ収集を通し、糖尿病医療の質の向上に貢献する目的で 2001 年 2 月に設立された。全国の多施設共同研究の実施、糖尿病治療の実態の把握と改善を目指した成果研究、前向き研究、研究会の開催 (年 2 回) などを行っている。

世話人代表 富山医科薬科大学 ・ 小林正

参加会員数 CoDiC 導入施設の医師など約 60 名